

平成20年度一般会計予算・特別会計予算を審査 =予算審査特別委員会=

平成20年度一般会計予算および4特別会計予算は、議員全員による予算審査特別委員会を設置（後木幸里委員長・笹木正文副委員長）し、3月17日から21日まで4日間にわたり審査されました。審査における主な質疑は次のとおりです。

【議会費】

（質問） 筆耕翻訳手数料の減額の理由は。

（答） 年4回の定例会のうち2回〜3回は会議録作成を事務局で行う。

【総務費】

（質問） 財政難なのだから開町記念式典の開催方法の見直し並びに開催を数年に一度にしてはどうか。

（答） 先人の想いを今後の町づくりを生かしていくためにも今ままでおやり続けていく。

（質問） 美しいまちづくり推進事業について、単なる美観づくりではなく町全体の景観・自然保護など見方を変えて取り組んでどうか。

（答） 条例に従い将来的にどのように進めていくかは22年度からの政策で考えていく。

（質問） 行政区活動支援事業は慣れていないとなかなか提案・立案がしづらい。行政区の裁量に任すわけにはいかないか。

（答） 現状の制度を活用していただきたい。19年度は8行政区、20年度は9行政区が提案している。サポーターを利用して地域で有効に活用して

いただきたい。

（質問） 公共施設整備基金積立に2,143万円、市町村備荒資金組合に5千万円積立てるとあるが、金額が大きすぎて他の事業に影響してこないのか。

（答） 公共施設の修繕等の資金は全て一般財源より支出することになる。また23年度に完成する徳富ダムの一括返済（13億3千万円）のための積立てであり、事前に資金需要に対応していくものと考えていただきたい。

（質問） 地方公営企業等金融機構出資金とは。

（答） 上下水道、公住など政府系の公庫資金制度が解散予定であり、その役割を都道府県、市町村が主体となり引き継ぐ金融貸付事業を行う機構への出資金。

【民生費】

（質問） 今年も灯油は高いが福祉灯油は19年度のみ措置か。

（答） これからの状況を見ながら対応したい。

（質問） ゆめりあ施設内で節電のためなのか暗い所があり目の悪い人への配慮が不足し

ているのではないか。

（答） 消しているわけではないが点検して適切な配慮をしていく。

（質問） 陽だまりの郷の増築について詳細を。

（答） 総事業費約4千万円、現建物の東側に9人入所可能な施設を建築、現在4人の入所希望者がいる。

【衛生費】

（質問） 健康相談が有料化されることにより受診率の低下を招かないか。

（答） 国保加入者は個人負担1,500円で町が行う。社保等の加入者はそれぞれの保険者が行うことになる。今までの受診率統計も国保加入者の受診率であったので低下するとは考えていない。

（質問） ごみの不法投棄の状況は。

（答） 横ばいと把握しており、特にタイヤ、パソコンが増えている。見つけた場合は警察に通報してもらいたい。

（質問） ごみが有料化されてから5年間で、よくぞこまで整備されたものだと感じている。一部の方が収集日に指定外のごみを出している。

行政区民のなお一層のモラル向上を進める必要があるのではないか。

（答） 町全体のイメージダウンに繋がるのでモラルを持つてごみ分別収集に協力していただきたい。サポーター制度を活用しながら行政区に向くなりしてごみの環境衛生を進めていきたい。

（質問） エコバレー歌志内から値上げ要請があるようだが。

（答） 21年度までは現状維持に努める。22年度以降は見直しされ値上がりが予想される。

【農林水産業費】

（質問） 町政執行方針で農産物のブランド化を強力に進めていくとあるが、それに伴う予算計上はされていないが。

（答） 営農振興対策協議会支援として20万円みている。JAピンネも同額を拠出しており20年度はこれの中で進めていく。農業所得の向上、産地差別化などJA中期経営計画を立てている。重点施策として作付品目の集約化、農産物の安心安全がキーワードであり、そこからブランド化の道